



2021年度 年次報告書

▶Mission 使命

- ・子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶ場所を作ります
- ・子ども達が多くの人に触れ、自ら育つことを見守ります
- ・プレーパークでは子どもも大人も自然体で関わり、遊び、交わります
- ・遊びの大切さと意義を社会に伝えていきます

▶Vision たいせつにしたいこと

- ・子どもが太陽と土と風のもとでたっぷりと遊び、豊かな「子ども時代」を過ごすこと
- ・子どもが「やってみたい」ことに挑戦し、安心して失敗ができること
- ・子どもが地域社会で人とつながりながら育つこと

1.活動報告

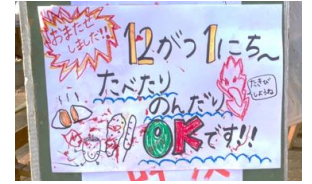
(1) 冒険遊び場プレーパークの開催

①新型コロナウイルス対策

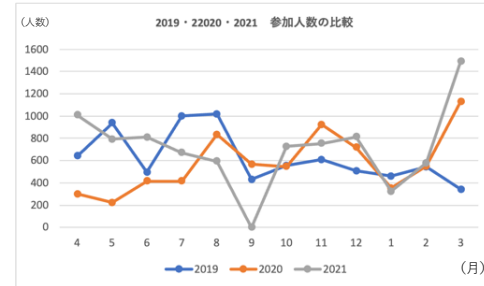
- * まん延防止中は飲食禁止 (4月~11月) 12月1日より飲食可
- * 9月1日~30日の期間は緊急事態宣言を受けて休園

②プレーパークの開催

- 定期開催を年間**153日**。延べ**8,584人**の参加がありました。
- 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受けて開催出来ない日がありました。
- スタッフ、サポーター人数は延べ**802人**。



	どんぐりの森		中央公園	さとくらし公園	ことりの森	鷹の台公園	合計
	平日	土曜					
開催日数	93	21	9	10	11	9	153日
累計参加人数	4,463	1,733	639	1,045	345	359	8,584人
累計スタッフ/サポーター人数	711		32	23	17	19	802人



★和良比どんぐりの森 (毎週月曜・金曜 第1・3土曜日は若者の野外の居場所として開催)



自然豊かな森の中で身近な自然と親しめる場所として未就園の親子が中心に賑わいました。落ち葉や木の実が遊び道具になり、水遊びや泥んこ遊びは1年を通して盛り上がりました。それぞれが自分のペースで穏やかに過ごし森での楽しみや遊びを見つけていました。どんぐりの森で友達になった親子が多く森で繋がり輪が広がった年でした。また各出張場所でプレーパークを知り、遊びに来た親子が多くいました。

親同士の交流場にもなっていて、日常の会話の中で子育ての相談会になったり子どもだけでなく大人にとっても大切な場所になっていったようです。プレーパークを続けていくために常連になった親子がどんぐりの森のサポーターやスタッフになってくれたこともありたいことです。

小学生が休みの時は小学生と小さい子が一緒に遊ぶ姿も見られ、異年齢の交流も多く見られました。2022年豆まきの鬼役はサポーターのお母さんの「やってみたい」を実行。鬼になったお母さんは小学生の容赦ない反撃にびっくりしていました。鬼のお面を被ってとことこ歩くと可愛い小鬼も出没していました。小学6年生の男子グループが1ヶ月ほどかけて黙々と泥場奥で秘密基地作りをしていました。先に作り上げた基地を見ながら構造などを参考に自分達で考えて形にする。基地作りにも熱い思いを抱きながら準備から実行へと遊びが連続するプレーパークの醍醐味を全力で感じていました。

◀今後▶

どんぐりの森に長年携わってきたスタッフが勇退されました。森の維持に携わるスタッフやサポーターを一人でも増やすことが課題となっています。